

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

嶺北地域の27項目の全てのアクションプランについて、事業主体や関係町村が取り組んできた中で、概ね計画に沿って事業が順調に進捗しつつある。

こうした中、嶺北地域では、事業の中核となるプレイヤーが複数の取組を行っている現状があり、今後の発展のためには、農業・畜産・林業などの各分野で新しい担い手やリーダーの人材育成が急務となっている。

そのため、各分野ごとの担い手育成の取組に加えて、4町村が連携した観光・交流人口の拡大や移住促進の取組の中で、U・Iターンによる地域外からの担い手確保の取り組みにも力を入れている。一方で、地域内の人材育成として、嶺北高校と連携して将来の担い手育成にも取り組んでいる。

また、嶺北地域アクションプランの取組事業者の中には、事業が開始して間もないことなどから経営基盤が脆弱な事業者もあり、経営計画や経営改善計画の樹立支援と計画の実行支援を行っている。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>“れいほく”ブランドの園芸産地の確立及びユズ加工品の販売促進</p> <p>■No.1 れいほくブランドの園芸産地の維持(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への協力要請(3回) ・生産者への遊休農地・空き家アンケート(1回) ・嶺北地域移住促進連絡会との情報共有(3回) <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA各生産部会の現地検討会(14回) ・天敵の推進講習会(2回)、天敵リレー(3回) ・栽培管理指導(土壌溶液分析)(7回) ・販売促進企画会議(5回) ・店頭での販促活動(3回) ・コープかがわ職員研修(2回) ・出前授業(1回) ・大阪市場及び量販店での販促活動 ・青果物販売取引検討会(1回) ・県内仲卸店でのれいほくコーナーの設置 <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理巡回指導(4回) ・研修会(1回) ・ノーブル由来の新系統の特性調査(1回)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 ユズ産地の確立と加工・販売の促進 (本山町、大豊町、土佐町)</p>	<p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地巡回指導 (2回) ・栽培指導講習会 (3回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な担い手確保 ⇒嶺北地域移住促進連絡会と連携した取組 (農地・空き家情報の収集等) 公益法人・集落営農組織・町村等が一体となった取組の推進 <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹品目(米ナス、シシトウ、三色ピーマン)の栽培確立 ⇒基幹品目への集約と生産技術の向上 病虫害対策の向上 ・販売促進活動などによる販売拡充 ⇒販売拠点(コープかがわ)の充実と消費宣伝 県内市場及び大阪市場の販売強化 <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害の早期発見 ・ノーブルの高品質・安定生産技術の確立 ⇒ノーブルの球根供給システムの確立と生産技術向上の体制づくり <p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販生産者の生産量の増 ⇒栽培品目の提案及び栽培管理指導による出荷量の増及び品質向上 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外での販促活動 (2回) ・生態(着花状況等)調査 (2回) ・個別巡回指導 (1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果用及び、果皮利用可能な果実の生産量向上 ・ユズ加工品の販売力強化 ⇒国内外への販促活動の強化 競争力を付けるための酵素失活・無菌充填施設の整備を関係町村等と検討

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組</p> <p>■No. 6 J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組（嶺北地域全域）</p>	<p>[取組状況]</p> <p>（農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗実績：野菜・花（5万鉢）、水稻（14.4万枚） ・作付実績：園芸作物（0.4ha）、新規需要米（2ha） ・受託実績：水稻関連（4.9ha）、ハウス関連（0.2ha） <p>（米粉事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携基金事業の採択（事業費：4,967千円） ・商談会への参加（1回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業体（JA出資型法人）の経営の安定化 ⇒中期経営事業計画（5ヶ年）の実践支援 ・農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業を展開するための機器整備 ⇒活用する補助金の検討支援 ・米粉・米粉加工品の販売拡大 ⇒農商工連携基金事業の効果的な活用 （新商品開発、販売促進活動への実践支援）
<p>肉用牛産業の再興及び土佐はちきん地鶏の振興による畜産業の展開</p> <p>■No. 8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興（本山町、土佐町、大豊町）</p> <p>■No. 9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化（大川村）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫事業（強い農業づくり交付金）の内示 （計画事業費：7.5千万円×3ヵ年）、 産業振興総合補助金の特別承認事業の採択申請 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営体制（飼育体制等）、資金計画の検討 ⇒事業執行体制（人員）の充実（緊急雇用を活用） 必要に応じた産業振興アドバイザーの導入 関係者（(株)れいほく未来、JA土佐れいほく、土佐町、県）による事業内容の協議 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者協議の実施（大川村、(株)むらびと本舗、県） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営・財務基盤の脆弱性 ⇒中期経営改善計画の樹立支援

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>関係機関による経営改善策等の継続協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の飼養技術の向上 <p>⇒ 職員の飼養技術の向上支援（現場研修等）</p>
<p>嶺北材の増産及び販路拡大</p> <p>■ No. 10 間伐の推進と素材生産の拡大 （嶺北地域全域）</p> <p>■ No. 11 れいほくスケルトン（嶺北材の邸別販売）の促進（嶺北地域全域）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業体と個別勉強会の実施（9 事業体） ・ 原木市場（とさ本山共販所）の再開（4 月 23 日） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原木増産体制の整備 <p>⇒ 搬出間伐の補助を受けるための計画作成支援 再造林補助金の充実による皆伐の推進</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「れいほくスケルトン」の基準作りに向けた工務店・製材所等の打ち合わせ会（2 回） ・ パートナー工務店との意見交換会（1 回） ・ 受注：1 邸 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期の「れいほくスケルトン」の基準作り <p>⇒ 土佐町と次期展開の検討・協議の実施</p>
<p>大型製材工場の設置</p> <p>■ No. 15 大型製材工場の設置による地域材の利用の促進（嶺北地域全域）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型製材工場の施設整備の着手 ・ 原木生産増大に向けた森林施業協議（大豊町、森林組合） ・ 再造林に対する大豊町の補助金交付要綱制定（6 月 1 日） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原木供給体制の整備 <p>⇒ 関係機関と連携し、原木市場を中心とした供給体制の整備検討</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地産外商の促進</p> <p>■No. 18 土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の促進(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販促イベント(5回) ・ 大阪事務所での木曜市(毎週実施) ・ 産業振興アドバイザーの導入(米粉パン製造) ・ 経営改善検証会議(毎月実施) ・ 地域産品商談会(高知市)への参加(新商品の発掘) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営・財務基盤の脆弱性 ⇒経営改善計画の実行支援 (経営改善検証会議で事業等の分析・検証) ・ 野菜供給体制の構築 ⇒嶺北地域の野菜の出荷体制の整備(土佐町が支援制度を創設済み)及び実行支援 ・ 顧客の回復及び新規顧客の開拓 ⇒催事の開催によるPR (JA土佐れいほく、土佐町により月2回程度実施中) 大阪事務所による支援 (木曜市開催、在阪の県人会など各種団体へのPR) まるごと高知、てんこすの売れ筋商品情報などの提供
<p>嶺北地域の連携による交流人口の拡大</p> <p>■No. 19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺北地域の旅行商品化の動き 催行済み(1社)、募集中(4社)、 催行に向け協議中(1社) 大学ゼミ旅行(1校催行決定、2校と協議中) ・ 嶺北地域観光・交流推進協議会に事務職員を雇用(緊急雇用の活用:1名)し活動を強化 ・ 観光人材育成塾「とさ旅セミナー」がスタート <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域観光のコーディネート組織の早期の見出し ・ 次年度以降の協議会の事務局体制の検討 ⇒嶺北地域観光・交流推進協議会での検討

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 4 米のブランド化による稲作農業の展開</p>	<p>[取組状況]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作付面積：30.8ha、37戸 ・栽培管理指導（5回） ・写真コンテスト、田んぼアートの実施 <p>(加工品（米焼酎））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興総合補助金の採択申請 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者価格の向上 ⇒直接販売増の取組の実施 <p>(加工品（米焼酎））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な生産体制の確立 ⇒実績のある杜氏や工業技術センター等からの生産指導による醸造技術の確立 ・販路の確保 ⇒町内販売及び事業者等の人的ネットワークを活用した町外・県外への販促活動
<p>■No. 5 (株) 大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組（大豊町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・碁石茶の販促活動（高知市内量販店、まるごと高知等） ・中期経営改善計画の取組状況確認 ・クールベジタブルの販促活動 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度産の碁石茶が在庫の状況 ⇒中期経営改善計画の実行支援 関係者と碁石茶戦略の再検討
<p>■No. 7 直販所「本山さくら市」を核とした地域活性化の取組（本山町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜栽培講習会（2回） ・先進地視察研修（1回） ・講演会（1回） ・産業振興総合補助金（ステップアップ事業）の採択 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷者・出荷量の増、地域外からの誘客 ⇒産業振興総合補助金（ステップアップ事業）の活用 栽培講習会等の継続実施

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 滞在型市民農園の推進による地域の活性化(本山町)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道の整備(町単) ・施設整備に係る国事業(社会資本整備総合交付金:内示済み)、県事業(移住促進事業)の交付決定(8月1日) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設に向けた情報発信・PR活動(ソフト対策) ⇒本山町市民農園整備促進協議会による取組
<p>■No. 25 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進連絡会議の開催(ほぼ、毎月開催) ・れいほく田舎暮らしネットワーク(1名)、4町村(各1名)に臨時職員を雇用(緊急雇用の活用)し、連携して取組(空き家調査、仕事調査、情報発信) ・高知県U・Iターン就職相談会への参加(3回) ・地域内企業等への移住に関する求人枠の協力要請 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の取組体制 ⇒町村、れいほく田舎暮らしネットワーク、県により協議
<p>■No. 27 地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組(嶺北地域全域)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米粉等を利用した新商品の開発及び販路開拓 こうち農商工連携基金事業を活用し、(株)れいほく未来・(株)とさ千里・嶺北高校による6次産業化の取組を展開中 (れいほく未来と嶺北高校の新商品開発委託契約の締結(8月15日)) ・観光・交流の取組嶺北地域観光・交流推進協議会の構成員に嶺北高校が参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が主体的に動き出すキッカケづくり ⇒アドバイザーの活用、県内大学との連携 高校生を主体とした模擬会社化の体制づくり

2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.7 本山さくら市活性化事業（本山町） ※ステップアップ事業 （H24.7.11 交付決定）</p>	<p>本山さくら市の活性化に向けた集客増等に向けた取り組み （講演会・研修会、チラシ配布、パンフレット作成等）</p>	<p>776 (387)</p>
<p>■No.4 “土佐天空の郷” 焼酎の醸造・販売事業（本山町） （H24.8.22 審査会）</p>	<p>‘土佐天空の郷’を選別する過程で生じた中米を原料とした米焼酎の醸造・販売の取り組み （醸造所、醸造設備の整備）</p>	<p>12,637 (6,017)</p>
<p>■No.8 土佐あかうしの未来を担う産地づくり事業（土佐町） （H24.8.22 審査会；特別承認事業）</p>	<p>土佐あかうしの生産基地整備による生産体制の強化に向けた取り組み （繁殖畜舎、肥育畜舎、管理棟等の整備）</p>	<p>176,250 (12,500)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加]

集落活動センター「汗見川」が実施する交流人口拡大事業と特産品づくりによる地域活性化の取組

<概要>

集落活動センター「汗見川」（平成 24 年 6 月 17 日設立）が、汗見川や清流館等を活用した交流人口拡大事業や地域産品の加工・販売事業に取り組み、地域の活性化を目指す。

[修正]

該当無し

[削除]

該当無し

4 県民参画に向けた取組

(1) 各種会議での説明・PR

実施日	会議等の名称	説明・PR等の内容
2月14日	本山政経懇話会	第2期計画
3月26日	JA土佐れいほく理事会	〃
4月20日	土佐町部落長会	〃
5月1日	大豊町区長会	〃
5月22日	本山町商工会総会	第2期計画、土佐の産業おこし参加プラン、産業振興計画シンポジウム
5月24日	土佐地区商工会総会	〃
5月29日	大豊町商工会総会	〃
6月29日	農業改良普及推進会議	第2期計画

(2) その他

1) 町村広報誌でのPR

- ・土佐の産業おこし参加プランのPR・・・本山町（6月号）、大豊町（6月号）

2) 文書でのPR

- ・産業振興計画シンポジウムの案内・・・3地区商工会、4町村森林組合、4町村フォローアップ会議委員、JA

3) 学校でのPR

- ・第2期計画の説明・・・土佐町中学校（4月27日）
嶺北高校（5月15日）

5 相談案件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	H24.7.17	農産品加工	地域の農産品（ぜんまい、薬草等）の集出荷・加工施設を整備したい。 （整備は、年度以降の予定）

追加項目

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
<p>集落活動センター「汗見川」が実施する交流人口拡大事業と特産品づくりによる地域活性化の取組</p> <p>《本山町》</p>	<p>汗見川や清流館等を活用した交流人口拡大事業やシソや蕎麦等を活用した特産品づくりにより、地域の活性化を目指す。</p>	<p>・汗見川活性化推進委員会 ・本山町</p>			<p>◆交流人口拡大事業 ◆特産品づくり</p>

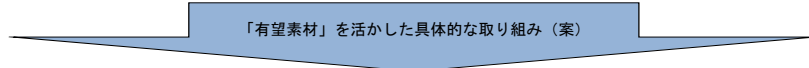
第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
交流人口拡大事業					→	清流館宿泊者数	1800人
既存事業の磨き上げ							
夏以外の交流人口拡大事業の開発							
インストラクター等の担い手の確保							
施設整備や機器の導入など、活動拠点(清流館等)の魅力の向上							
交流人口拡大事業のPR活動							
特産品づくり					→		
既存商品の磨き上げ							
新たな特産品づくり							
販売体制の確立							
施設整備や機器の導入など、加工体制の強化							
特産品のPR活動							

有望素材シート（24年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	本山町	素材名	汗見川、清流館
		関連素材	

現状・課題	<p><現状> 本山町の北部に流れる「汗見川」沿いには立野、坂本、屋所、沢ヶ内、瓜生野、七戸の6つの集落があります。その集落では、住民が主体となって「汗見川活性化推進委員会」を平成11年に立ち上げ、河川清掃や景観保全などの「汗見川」を美しく維持するための取り組みや廃校を活用した宿泊施設「清流館」を拠点にした交流人口拡大事業、シソ等の地域の農産物を活用した特産品づくりが行われております。 汗見川活性化推進委員会や町では更なる活動の磨き上げや地域資源を活用した新たな取り組みの開発・実施が考えられており、平成24年7月からは集落活動センター推進事業を活用して具体的な取り組みがすすめられています。</p> <p><課題> ・交流人口拡大事業については、清流館の宿泊者数の半数以上は夏場に偏っている等、汗見川での人口交流の主な時期は夏場になっております。これから交流人口拡大事業していくためには、夏場以外の体験交流事業を実施するなど、年間通じて汗見川にお客さんが訪れるような仕組みが必要です。 ・特産品づくりについては、しそ・ゆずジュースやどぶろく、味噌等、地域の農産物を使った特産品が製造・販売されておりますが、PRや販売の体制が確立されていないため、十分な収益につながっておりません。また、多くの種類の特産品をつくり、地域の特産品を充実させる必要があります。 ・将来を考えると高齢化による地域活動の担い手の不足が懸念されます。 ・耕作放棄地の増加やシカ等の鳥獣被害の増加が深刻化しており、特産品の原料となる農作物の生産に支障がでており、今後は問題解決に向けた取り組みが必要となっております。</p>
	<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口拡大事業については、農業体験や林業体験等の産業の要素を加えた体験メニューを夏場以外に開催する等、夏場以外の魅力ある体験事業の開発や実施により、年間通じて汗見川にお客さんが訪れるような仕組みを作ります。 ・特産品づくりについては、地域商店での販売、ITを活用したPR活動、県外でのPR活動等、積極的にPR活動を実施し、特産品の認知度向上と販売拡大につなげます。 ・体験事業や特産品づくりに関する研修会や先進地視察などを実施し、地域活動の将来の担い手確保と担い手の技術力向上につなげます。 ・耕作放棄地を活用した農作物の生産やシカ肉を活用した商品開発などを実施し、耕作放棄地や鳥獣被害など、地域の問題解消につなげます。



『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	集落活動センター「汗見川」が実施する交流人口拡大事業と特産品づくりによる地域活性化の取組
	関係市町村名	本山町

事業の概要	<p>集落活動センター「汗見川」が実施する、汗見川地域の資源を活用した交流人口拡大事業と特産品づくりにより、地域活性化を目指す。</p> <p>1 交流人口拡大事業 ①既存事業の磨き上げと夏以外の人口交流事業の開発 ②体験事業のインストラクター等の担い手の確保 ③施設整備や機器の導入等、活動拠点（清流館等）の魅力の向上 ④人口交流事業のPR活動</p> <p>■特産品づくり ①既存商品の磨き上げと新たな特産品づくり ②施設整備や機器の導入等、加工体制の強化 ③販売体制の確立 ④特産品のPR活動</p>
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】 汗見川活性化推進委員会、本山町</p> <p>【関係機関】</p>
-------	--

取組手順	事業実施	1年後	2年後	3年後	4年後
	【H24】	【H25】	【H26】	【H27】	【H28以降】
交流人口拡大事業	既存事業の磨き上げ				
	夏以外の交流人口拡大事業の開発				
	インストラクター等の担い手の確保				
	施設整備や機器の導入など、活動拠点(清流館等)の魅力の向上				
	交流人口拡大事業のPR活動				
特産品づくり	既存事業の磨き上げ				
	新たな特産品づくり				
	販売体制の確立				
	施設整備や機器の導入など、加工体制の強化				
	特産品のPR活動				

項目	事業実施	1年後	2年後	3年後	4年後
	【H24】	【H25】	【H26】	【H27】	【H28以降】
清流館宿泊者数	900	1100	1200	1500	1800
【設定根拠】	【推計の考え方】				
	【考え方】				

総事業費	千円	(うち24年度	千円)	
(内訳 国:	県:	市町村:	その他:)
想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	国:	県:	人的支援:	
	その他:			
備考				

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
16 木質バイオマス利用拡大の取組 《嶺北地域全域》	木質バイオマスの利用拡大と林業の活性化を図る。	・民間事業者 ・本山市 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	・加工施設の設置・事業展開(H23) ・木質バイオマスボイラー等の導入設置(H22~23) ◆木質バイオマス利用施設の導入により、木質資源の利活用が促進された。また、工場残材の有効利用により、燃料コスト削減が成果として見え始めている。	・原木(C材)の安定供給体制の構築 ・木質バイオマスの利用拡大	◆原木(C材)の安定供給 ◆木質バイオマス発電施設等の導入検討



項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
16 木質バイオマス利用拡大の取組 《嶺北地域全域》	木質バイオマスの利用拡大と林業の活性化を図る。	・民間事業者 ・本山市 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	・加工施設の設置・事業展開(H23) ・木質バイオマスボイラー等の導入設置(H22~23) ◆木質バイオマス利用施設の導入により、木質資源の利活用が促進された。また、工場残材の有効利用により、燃料コスト削減が成果として見え始めている。	・原木(C材)の安定供給体制の構築 ・木質バイオマスの利用拡大	◆原木(C材)の安定供給 ◆木質バイオマス発電施設等の導入検討

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
原木(C材)の安定供給					◆	チップ材の取扱量	2,500t
土佐町森林資源活用検討協議会による事業展開の検討、仕組みづくり							
林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による仕組みづくり(本山市、土佐町、大川村)		林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による実践活動(本山市、土佐町、大川村)					
木質バイオマス発電施設等の導入検討					◆		
木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討(大豊町)							



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
原木(C材)の安定供給					◆	チップ材の取扱量	2,500t
土佐町森林資源活用検討協議会による事業展開の検討、仕組みづくり							
林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による仕組みづくり(本山市、土佐町、大川村)		林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による実践活動(本山市、土佐町、大川村)					
木質バイオマス発電施設等の導入検討					◆		
木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討(大豊町)	木質バイオマス発電施設等の整備(大豊町)		木質バイオマス発電施設等の稼働(大豊町)				